

製品仕様

■ 全般

使用条件	周囲温度:10℃～35℃ 相対湿度:20%～80%(非結露) 気圧:800 hPa～1060 hPa
保管・輸送条件	周囲温度:-20℃～60℃ 相対湿度:10%～85%(非結露) 気圧:700 hPa～1060 hPa
消費電力	12 W
測定方式	誘電泳動インピーダンス測定(DEPIM)方式
測定範囲	1 × 10 ⁵ cfu/mL～1 × 10 ⁸ cfu/mL
微生物定量値の測定誤差	1 × 10 ⁵ ～1 × 10 ⁶ 未満 ± 10 ^{0.5} cfu/mL 1 × 10 ⁶ ～1 × 10 ⁸ ± 10 ^{0.25} cfu/mL
培養法との相関性	機器と培養法の相関係数(R): 0.85 以上
測定可能導電率	5 μS/cm～400 μS/cm
測定時間	約1分(懸濁時間含む) ※ただし、測定環境条件などにより1分30秒程度かかる場合があります。
最大測定結果データ蓄積数	5000件

■ 機器本体

本体寸法	幅:144 mm × 高さ:147 mm × 奥行き:189 mm
質量	約 1.3 kg

■ ACアダプター／電源コード

定格入力	交流 100 V 50-60 Hz
定格出力	直流 12 V 3 A
寸法	幅:50 mm × 高さ:33 mm × 奥行き:99 mm (コードを除く)
質量	約 0.3 kg (ACアダプター及び電源コード式)
ACアダプター	長さ:1.5 m
電源コード	長さ:1.8 m

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
※本機の結果は診断内容を示すものではありません。
※一般医療機器ではない類似品にご注意下さい。

付属品・測定消耗品

■ 付属品

定圧検体採取器具 ……1個 電源コード ……1個 ACアダプター ……1個

■ 別売品

専用測定消耗品 1箱

(センサーチップ100本、ディスプレイカップ100個、滅菌綿棒105本)

品番:N-DP05

一般医療機器 医科用捲綿子 届出番号:13B1X10381001004



口腔内細菌カウンタ専用

定圧検体採取器具 1個

品番:N-DP02



口腔内細菌カウンタ専用

ACアダプター

品番:N-DP03

ACアダプター1個/電源コード1個



⚠ 安全に関するご注意

●ご使用の際は、添付文書および取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。●このカタログに記載の商品は医療従事者向け商品です。

(1)本機は医療機器であり、使用者は操作を熟知する必要があります。(2)定期的に機器の点検を行ってください。

保証書に関するお願い

●商品には保証書を添付しております。ご購入の際は、必ず保証書をお受取のうえ、保存してください。尚、店名、ご購入期日の記載のないものは無効となります。

パナソニックグループは環境に配慮した製品づくりに取り組んでいます。

詳しくはこちら



Panasonic GREEN IMPACT

省エネ

省エネを徹底的に追求した家電製品をお客様にお届けし、商品使用時のCO₂排出量削減を目指します。

省資源

新しい資源の使用量を減らし、使用済みの家電製品などから回収した再生資源を使用した商品を作り、資源循環を推進します。

化学物質

パナソニック製品は、特定の環境負荷物質[※]の使用を規制するEU RoHS指令の基準値にグローバルで準拠しています。※鉛・カドミウム・水銀・六価クロム・特定臭素系難燃剤・特定フタル酸エステル

■お問い合わせとご用命は…

このカタログの内容についてのお問い合わせは左記のご販売店様にご相談ください。

または、以下のヘルプデスクにお問い合わせください。

口腔内細菌カウンタヘルプデスク
0120-878-857

このカタログの記載内容は
2024年5月31日現在のものです。



(01)02747937018743

C02305/2024年7月/30/@40/改



〒110-8507 東京都台東区上野7-6-9
ユニット・歯科材料・滅菌器などのお問い合わせ
TEL.0800-170-5541
https://www.yoshida-dental.co.jp

●製品の色は印刷物ですので実際の色と若干異なる場合があります。●製品の定格およびデザインは改善等のため予告なく変更する場合があります。

●実際の製品には、ご使用上の注意を表示しているものがあります。

Panasonic

微生物定量分析装置 **保険適用**

口腔内細菌カウンタ NP-BCM01-A

口腔細菌定量検査を 短時間で簡単に



短時間



簡単操作



一般医療機器

特定保守管理医療機器

医療機器届出番号: 13B1X10381001003

詳しくはHPへ >>

<https://dental-washer.jp.eww.panasonic.com/bacterial-counter.html>





様々な現場で口腔機能の診察にお役立ち
口腔内衛生状態、口腔バイオフィルムに対して
口腔内の細菌定量検査ができます

歯科医院で

訪問
 歯科診療の
 場で



口腔内細菌カウンタはDEPIM法を用い
口腔内の総菌数*を約1分で定量的に計測する機器です

口腔内細菌カウンタの
 使用目的又は効果

診療を目的として口腔から採取した試料中の微生物を電気インピーダンスにより
 定量する半自動の装置です。

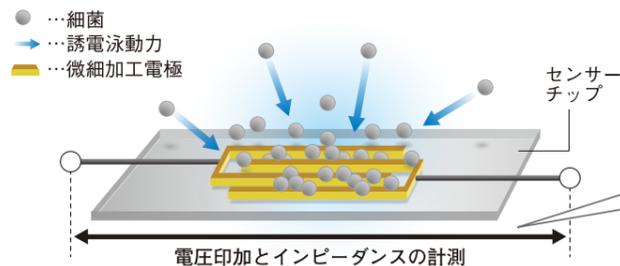
*検体1 mLあたりの細菌濃度 [cfu/mL] に換算して測定 (菌種の同定は行いません)。



細菌検出技術「DEPIM」により、約1分*¹で
培養法と同等*²の細菌数測定結果が得られます。

■誘電泳動力で細菌を電極にトラップ

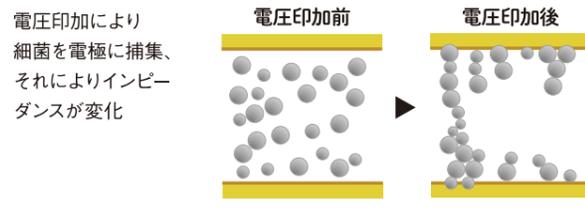
※細胞壁が帯電されていることを利用



*¹ 測定環境条件により、1分30秒程度かかる場合もあります。

*² 測定結果は培養法との相関があり、口腔内細菌カウンタの測定値は培養法の測定値の相対値です。

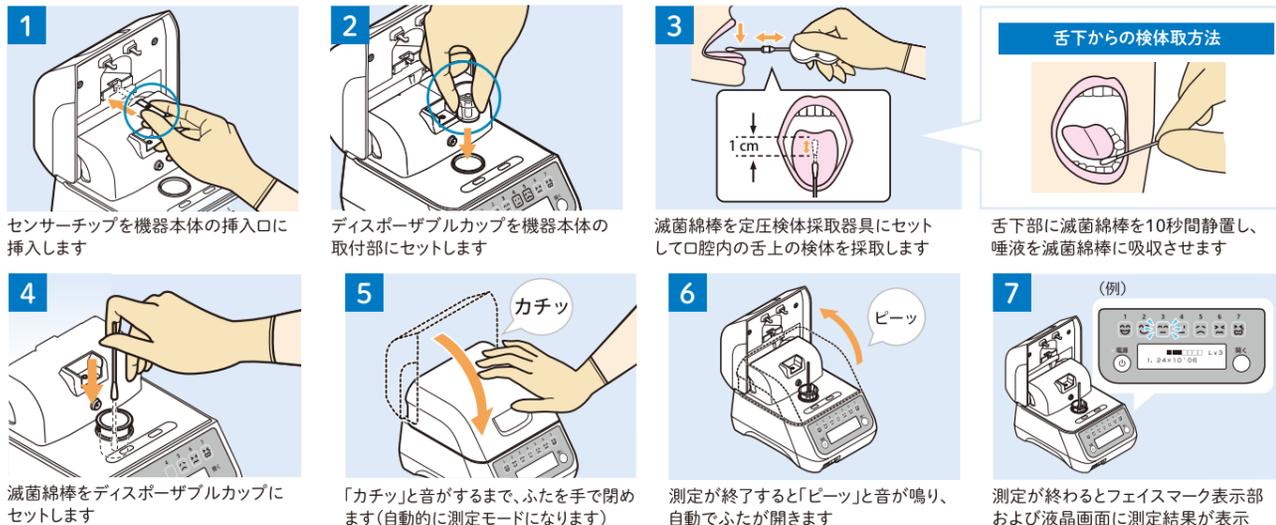
電極間のインピーダンス変化を測定



●イラストはイメージです



特別なノウハウ不要で簡単に検査、
コンパクトサイズで訪問歯科診療の場でも活躍



●測定後、使用済みセンサーチップと滅菌綿棒・ディスプレイカップ内の測定溶液は、各自治体や施設の廃棄区分に従って処理してください。 ●イラストはイメージです

DEPIMとは DEPIM(DiElectroPhoretic Impedance Measurement)は誘電泳動で液体中の細菌を電極に捕集させ、インピーダンスの変化を計測して検体1 mL中の細菌濃度 (cfu/mL) に換算し、定量的に細菌数を計測できる測定方法です。

【保険適用について】

D002-6
口腔細菌定量検査

口腔細菌定量検査とは、舌の表面を擦過し採取されたもの又は舌の下部から採取された唾液を検体として、
 口腔細菌定量分析装置を用いて細菌数を定量的に測定することをいう。

1 口腔細菌定量検査1 130点

「1. 口腔細菌定量検査1」は、次のいずれかに該当する患者に対して
 口腔バイオフィルム感染症の診断を目的として実施した場合に算定できる。

- イ. 在宅等において療養を行っている患者
- ロ. イ又はハ以外の患者であって、入院中のもの
- ハ. A000に掲げる初診料の(16)のイ、ロ、ニ若しくはホの状態又はA002に掲げる再診料の(8)のイ、ロ、ニ若しくはホの状態の患者

2 口腔細菌定量検査2 65点

「2. 口腔細菌定量検査2」は、問診、口腔内所見又は他の検査所見から
 加齢等による口腔機能の低下が疑われる患者に対し、
 口腔機能低下症の診断を目的として実施した場合に算定する。

(令和6年保医発0305第4号「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項
 について」別添2「歯科診療報酬点数表に関する事項」より抜粋) 算定に関する詳細は、
 上記引用元の「区分番号:D002-6口腔細菌定量検査」をご参照ください。

■口腔バイオフィルム感染症とは

- ・身体機能の低下による口腔清掃能力の低下や口腔機能の低下、免疫力の低下等により口腔内バイオフィルムが著しく増加した状態。
- ・歯科疾患、口腔粘膜疾患、誤嚥性肺炎の発症や重症化リスクは、口腔内細菌の量と質によって決定づけられる。
- ・在宅等において療養を行っている患者や入院患者、障害(児)者などにおいては、口腔内の著しい汚染がみられることがある。
- ・口腔内の汚染の原因の一つは、口腔内細菌の著しい増加である。

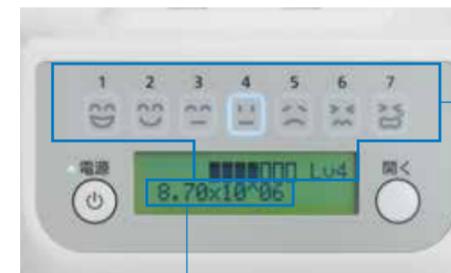
(日本歯科医学会「令和6年3月 口腔バイオフィルム感染症に関する基本的な考え方」より抜粋)

■口腔機能低下症とは

- ・加齢だけでなく、疾患や障害など様々な要因によって、口腔の機能が複合的に低下している疾患。
- ・放置していると咀嚼障害、摂食嚥下障害など口腔の機能障害に陥り、または、機能障害をきたし、また、低栄養やフレイル、サルコペニアを進展させるなど全身の健康を損なう。

(日本歯科医学会「令和6年3月 口腔機能低下症に関する基本的な考え方」より抜粋)

測定結果は7段階フェイスマーク表示と測定数値のダブル表示



■フェイスマーク表示部とレベル表示

7種類のフェイスマークと数値で測定結果表示



※細菌濃度 [cfu/mL] に換算。その換算値を「個」と表記しています。

■液晶画面表示部(測定数値)

8.70 × 10⁶の6乗(8.70 × 10⁶ cfu/mL)
 = 870 万個

■表示例

液晶画面表示部に希釈液 1 mL あたりの細菌数が表示されます。



測定結果が3.16 × 10⁶ cfu/mLのとき
 「レベル4」が点灯

測定結果が1.00 × 10⁷ cfu/mLのとき
 「レベル5」が点灯

※測定結果は、検体採取方法または使用条件や
 測定条件により異なります。

パソコンでデータ管理可能

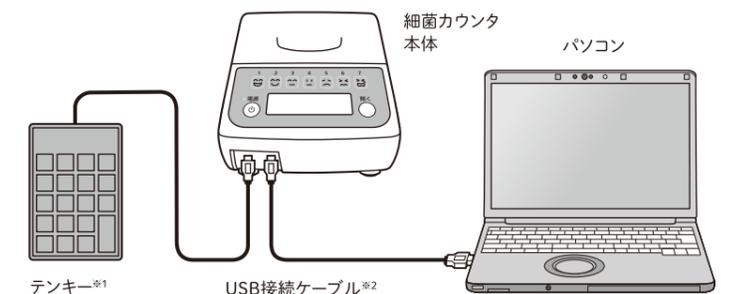
■保存データ

- ・測定結果は5000件までのデータを機器本体に保存します
- ・データ項目:日時・細菌数・レベル
- ・推奨のテンキーを接続すると、ID(12桁)・性別・年齢が同時に保存できます
- ・推奨のテンキーについては取扱説明書をご参照下さい

■保存データのパソコン取得

- ・細菌カウンタユーティリティソフトをパソコンにインストールし、USB接続ケーブル(市販品)で本体とパソコンを接続すると、本体で保存していたデータをパソコンに取り込むことができます
- ・詳細は口腔内細菌カウンタユーティリティソフト取扱説明書をご参照下さい

ユーティリティソフトのダウンロードはこちら >> <https://dental-washer.jp.eww.panasonic.com/bacterial-counter/download/kiyaku.html>



※1 テンキー(市販品)USB2.0対応 Aタイプ
 ※2 USB接続ケーブル(市販品)USB2.0対応 Aタイプ:ミニBタイプ-5Pin